

# 平成23年度 第22回 関東高等学校バスケットボール新人大会

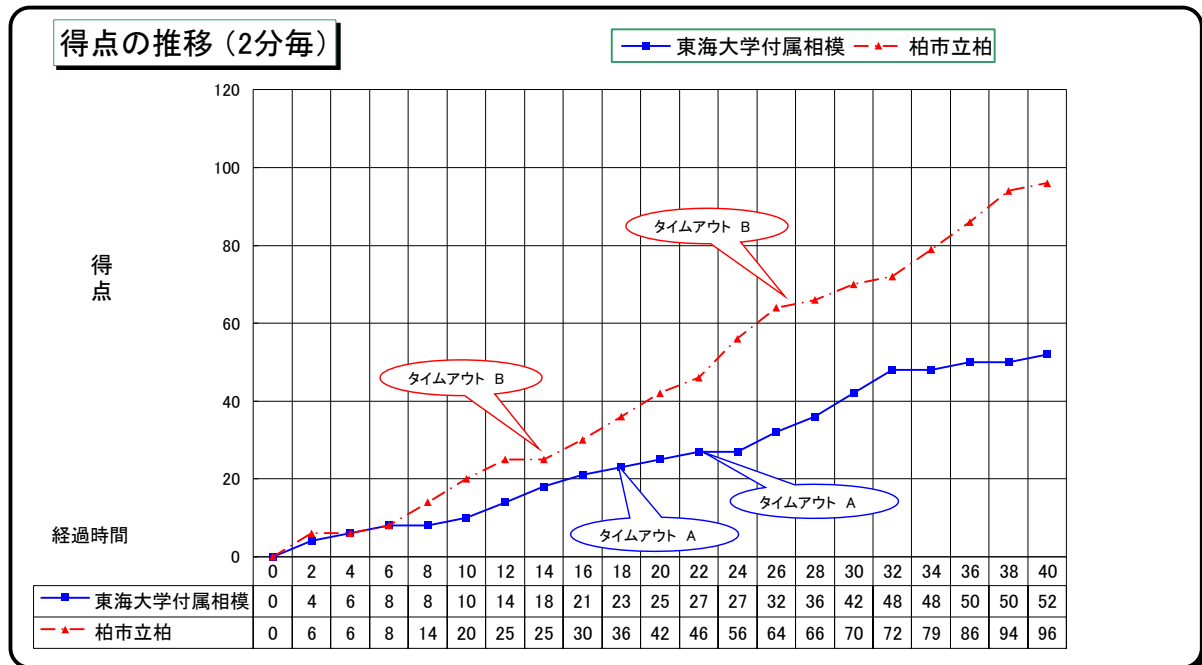
## 【男子】 <2回戦>

平成24年 2月11日(土)	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	大会1日目	Aコート	第6試合 16:30~	
<b>&lt;チームA&gt;</b> <b>東海大学付属相模</b> 神奈川		52 { 10 1Q 20 } { 15 2Q 22 } { 17 3Q 28 } { 10 4Q 26 }		<b>&lt;チームB&gt;</b> <b>柏市立柏</b> 千葉	
主審: 佐藤 弘之(群) 副審: 佐田 幸一(山)					

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	中山 拓哉	16		8		2
○	5	津久井 溪					3
○	6	赤堀 友紀	5	1	1		4
◎	7	田代 暉	17	1	5	4	3
◎	8	佐久間 海	2		1		2
	9	岡野 貴樹					
	10	小池 拓馬					
	11	新井 哲史					
	12	春日 孝太					
◎	13	木村 嗣人	4		2		1
◎	14	本多 秀之	8		4		
	15	早川 直樹					
	16	柳田 秀則					
	17	前園 翔平					
	18	石川 智貴					
コーチ 永田 雅嗣郎							
合計			52	2	21	4	15

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	大崎 裕太	34	8	4	2	1
◎	5	永田 龍太郎	6		3		3
◎	6	大和 尚樹	7	1	2		
◎	7	杉山 蒼太	9		4	1	1
◎	8	會田 圭佑	17	2	5	1	2
○	9	北村 雅裕					
○	10	安田 賢司					
	11	中村 恭平					
○	12	中川 雄斗	23		11	1	
	13	小山 昂祐					
○	14	柳館 拓己					
	15	鈴木 遼					
	16	若原 大悟					
	17	大塚 光					
	18	吉田 直矢					
コーチ 稲野辺 聡							
合計			96	11	29	5	7

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート(本数) / 2P:2点シュート(本数) / FT:フリースロー(本数) / Foul:パーソナルファウル



**戦評** 記入者: 坂木 玄洋

第1P、東海大学付属相模(以下、東海相模)は、ハーフコートマンツーマンディフェンス、柏市立柏(以下、市立柏)は2-3ゾーンとマンツーマンのチェンジングディフェンスでスタートする。東海相模もオールコートから2-2-1ゾーンディフェンスを仕掛けてリズムを掴みにかかる。序盤、市立柏のアウトサイドシュートが決まり始め徐々に流れを掴む。20-10で市立柏リード。

第2P、市立柏はハーフコートマンツーマンディフェンスでスタートすると④大崎が立て続けにジャンプシュートを決めてリードを広げる。東海相模は2-2-1ゾーンディフェンスで、市立柏のターンオーバーを誘いリズムを崩しにかかる。ターンオーバーを嫌った市立柏は残り6分(25-16)でタイムアウトをとる。その後、東海相模は⑦田代の3pで追い上げるも、市立柏は④大崎の3pや⑧會田の速攻などで突き放す。残り2分、東海相模はタイムアウトをとり追い上げを図る。しかし、本日絶好調の市立柏④大崎がこのゲーム6本目の3pを決め、42-25で市立柏がリードを広げる。

第3P、東海相模はハーフコートマンツーマンで流れを変えようとする。しかし、市立柏は慌てずにセットオフENSEを展開する。残り7分、54-27と点差が開いて東海相模はタイムアウトを取る。しかしその後も市立柏の合わせのプレイが次々決まり一気に市立柏に流れが傾く。東海相模も④中山のミドルシュートや⑦田代のタップシュートで反撃するものの逆に市立柏がリードを広げて70-42で第3P終了。

第4P、何とか追いつきたい東海相模は⑦杉山が3pや速攻で奮闘する。しかし、市立柏は④大崎や⑧會田を中心に攻撃の手を緩めない。その後も市立柏は安定したゲーム運びでリードを広げる。結局94-52の大差で市立柏が勝利した。